ペルーの思い出

札幌市医師会
五稜会病院
津田（つだ）　昇吾（しょうご）

五稜会病院に入職して４年目になります。日々多くの方の診療にあたる機会に恵まれ、充実した日々を送っております。当院では例年１回（今年度からは２回！）１週間の休暇を取得できます。２週間、３週間と休暇を取得するのは難しい職種ですが、１週間を２回の取得を院長に提案したところ、この案が採用されました。メリハリは大事です。当院では院長をはじめ医師間および他の職種との風通しが良いのが特徴だと感じます。

この期間を利用して例年海外を訪れています。今回は１年目と２年目に訪れたペルーについて触れたいと思います。ペルーと言えば、マチュピチュ、クスコ、ナスカの地上絵をはじめ多数の観光スポットで有名ですが、実は世界でも有数の美食国家でもあります。

世界の食文化を紹介するグルメガイドサイト「TasteAtlas」が各国の料理文化全体を総合的にランキング化した「Best Cuisines in the World 25/26」においてペルーは第３位にランクイン。ちなみに日本は６位です。アンデス山脈やアマゾン、海岸部など多様な気候帯で育つ豊富な食材と、先住民の伝統にスペイン、アフリカ、中国、日本などの移民文化が交わったことで、多彩な味わいが発展したといわれています。特にセビーチェ（魚介のマリネ）をピスコサワー（ブドウを原料とする蒸留酒ピスコをベースにライム果汁、シロップ、卵白をシェイクして作るカクテル）とともに食し、ほろ酔いの状態で、首都リマの、喧噪から離れた美しい海岸沿いの地区を散策することは至高の幸せです。

一方で、一歩閑静な地区から離れると、交通インフラが未発達ゆえのヘビーな交通渋滞およびそれに伴う排気ガスの臭い、鳴り止まないクラクション、電線が垂れ下がったまま放置された舗装されていない道路など。こうした側面もまた、旅の醍醐味です。有名な観光地では味わえない、「海外の雰囲気なるもの」もまた、思い出になります。こうした刺激を求めて、今年も海外に出かけます。

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。ぜひともご投稿いただきたくお願い申し上げます。
なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

１．原稿の締切
毎月５日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。
できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

２．原稿の体裁と字数制限
(1) 原則として横書きといたします。
(2) 引用文以外は、すべて常用漢字、現代かなづかいを使用してください。
(3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
(4) １回の掲載紙面は、原則として「学術投稿」は２頁、**「会員のひろば」は１頁**を限度とします。
医報１頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。
(5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

３．原稿の訂正、返却
次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。
(1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
(2) 匿名の投稿
(3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの（二重投稿）
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
(4) その他掲載に支障がある内容

４．ホームページへの掲載
特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661　FAX 011-241-3090
E-mail：ihou@m.doui.jp